

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公表番号】特表2006-511196(P2006-511196A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-509714(P2004-509714)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	13/10	
C 0 7 K	16/18	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月14日(2009.7.14)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 9】

(1又は2以上の)アミノ酸の変異は、その変異がペプチドの免疫原性に影響を与えた

いように、言い換えると、ペプチドが、MHC分子に対する同程度の結合能及びT細胞刺激能を示すように選択される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

別の好ましい形態として、抗原提示細胞上（表面）に結合されたペプチドが投与される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項10】

抗原提示細胞上に結合されたペプチドが使用されることを特徴とする請求項7又は8記載のペプチドの使用。